

第3回「SSH×若き研究者（国循環研医師浅野先生）との対談」 実施報告書

SSH 委員会 担当 中村英

(1) 日程 令和2年8月4日（火）本校CALL教室

14:00～14:30 講演「①医師という職業」「②患者さんに還元できる研究とは」

14:30～14:45 ③本校生徒による課題研究発表と助言

(2) 仮説・ねらい

研究者として活躍する医師のお話を聞くことで、医学研究について理解を深めると共に、医療における研究の意義を学ぶ。

研究計画を発表し、助言をいただくことで課題研究計画を改善し取組を活発化することができる。

(3) 実施内容

講師 浅野 遼太郎 先生(国立循環器病研究センター病院心臓血管内科医師, 肺高血圧症先端医学研究部研究員)



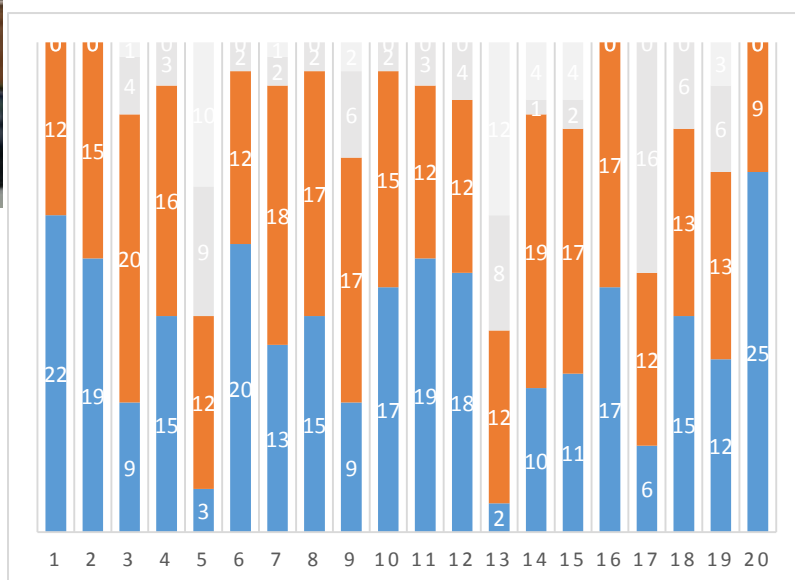
図1 医師のキャリアパスや論文の解説を聴講する生徒



図2 課題研究「トロツコの未来」について発表している生徒の様子

笑顔で生徒の相談に乗ってくださり研究方法についてアドバイスをしてくださる浅野先生

講演①「医師という職業」では医師のキャリアパスを学び、医師としての働き方や使命がいくつ



もあることを知った。浅野先生が医師を志したきっかけや、医師になった後に国立循環器研究センターへ就職し研究にも携わっている理由などリアルな話を聞くことができ、進路を考えるきっかけになった。また、研究が忙しい時期には日をまたいで勤務することもあるなど、浅野先生の医師になっても学び続ける姿勢に大変感銘を受けた。

講演②「患者さんに還元できる研究とは」では、実際の症例や研究のデータを見せていただき、最先端の治療法や研究成果を知ることができ、医学研究の意義について理解が深まった。また、研究の成果を論文にまとめる仕事や国際学会での発表の経験談なども聞くことができ、非常に刺激を受けた。国際性が高まり課題研究に対するモチベーションも上がった(表1)。

図1 生徒の評価

③課題研究発表では「トロツコの未来」研究班がトロツコ問題について質問した。浅野先生の医師としての立場での考えをお聞きすることができただけでなく、医療現場におけるトリアージの問題や医師としての意思決定のプロセスなど具体的な事例からトロツコ問題について考えるヒントを得ることができた。④事前事後学習として難病センターHPを閲覧し「肺高血圧症」について学習し、さらに浅野先生の論文のAbstractを和訳した。

Prolonged QRS duration as a predictor of right ventricular dysfunction after balloon pulmonary angioplasty. (International journal of cardiology 280 176 – 181 2019年4月)

(4) 評価

(1)科学への興味が高まった。(2)未知の事柄への興味・好奇心が高まった。(16)科学の学習が自分の将来の可能性を広げると思うようになった。と回答した生徒の割合が100%となった(図1)。20項目中16項目において80%以上の生徒が肯定的に捉えており、非常に有意義な講演会となったといえる。また、**英語の論文を読むことは自身の成長に役立つと回答した生徒が100%となり、講演会の機会に英語の論文を購読することが生徒の成長の実感につながることを示唆された。**

表1 生徒感想

事前学習の論文を読むまで、PAHなんて病気聞いたことがなかったけど、知ることができてよかった。実際に命に関わる仕事をしている人の意見を聞いて良かったし、課題研究の参考になりそうだったのでよかった。

医師になるためにはいろんな過程を乗り越えていかなくちゃいけないことがわかったし、目の前の人を救う医師やそうではない見えない世界中の人たちを救う医師など様々な人がいたけど、やっぱり医師はカッコいいなと思いました。小さい頃から人の命に関わるような仕事をしたいと思ってたので、今回の公演を聞いて心不全の方のお話を聞いたり医療の話をたくさん聞くことができたりしてとてもいい時間を過ごせました。ありがとうございました。

大学院に行ったら医者か研究者の選択をしようとお聞きしましたが、医者だけが頑張る、研究者だけが急いで研究するというのではなく、医者が患者さんとコミュニケーションをとったり患者さんひとりひとりの選択をしたりしながら、その間に研究者が確実に研究を進め、薬や治療法を生み出すという、協力が大切だと思いました。

病気の原因や、治療法などを知るには、これまでにあった事例や解剖などで得た情報をもとに、一つ一つ解明していく他ないのだなと思った。今回の件では、BPAをしたにも関わらず、症状が悪いままの人が全体の40%ほど居て、解剖をし、心臓を見てみると、瘡蓋のままであるようで、BPA後回復が見られた患者さんと比較すると、組織の回復が悪いということが解剖から得られたことがわかった。病気の解明には、犠牲になってしまう方も出てしまい、その方々のためにも、病気を解明することが大事なんだなと思い、今のコロナ禍の中でも同じようなことが言えるのかなと思った。

患者さんの事を第一に考えるのが大切なんだなと思いました。/医者として研究することで広い範囲で研究できるのだと学んだ。

浅野先生はアメリカドラマが医学部進学へのきっかけになったとおっしゃっていたので、自分も身近なものや様々な分野に触れて進路選択に活かしたいと思いました。/1つの出来事からその後の人生が変わることってほんとにあるんだと思いました。

医師として目の前の患者さんを救うことも大切ですが、研究を通して患者さんを救うことが医学の発展に繋がりで多くの患者を救うということがわかりました。/自分が研究したいや勉強したいと思ったことを学ぶことがとても大切だと思いました。

学校の勉強と違って自分の好きなことが学べるのが大事だと思った。/専門用語が多くてあまり内容が分からなかった

自分の将来を決めるのは、早ければ早いほど対策ができると思ったので自分もなりた職業を早く見つけたいと思った。

医療系にも色々な仕事があって、現場にいるからより患者に寄り添い、医療に貢献出来る研究ができると思った

医師になるにはたくさんの努力と勉強が必要なんだなと思いました。/トロツコ問題の見方は人によって異なると思った。

医者になるまで勉強大変だけど、なってからの方が勉強していると言っていて、いつになっても学ぶことはあるんだなと思った。

目の前の人を医師と見えない人を救う医師のそれぞれ医師になる過程を知ることができよかった

一つの病気についていろいろな研究がされていることがわかった/医者になっても勉強を続けている浅野先生はすごいと思った

医師は人の命を預かる仕事なので命を大切に思っているや責任感が強い人に向いている職業だなと思った

医者という仕事は、大変だということは分かっていたけど、先生の話聞いてものすごい努力が必要だと実感した。目の前の人だけではなく、見えない範囲の人を救う意志の強さがすごいと思いました。

私は将来、医療系の仕事に就こうと考えていて、とても参考になりました。医学部の大学の仕組みだったり、詳しい学校生活について知れたのでとても嬉しかったです。また、「肺高血圧症」という個人的に身近な病気だったりするので、その仕組みだったりあまり触れることのないことだったので、知れたのはとても勉強になりましたし、もっと幅広く深く学びたいと思いました。

目の前の人を救う人達が医者だと思っていたけど、実験などを繰り返して世界中の人々を救っている医者もいるということを知れた。私も人の命を救う存在になりたいと思った。

医師の中でも様々な仕事の仕方があり、それぞれに大切な役割があることを知った。現場だけでなく、原因や治療法が見つからない病気の研究をすることでより多くの人の命が救えるようになるのだということがわかった。

医学部卒業後のことをよく知らなかったので知れてよかったです。研究をしていくなかで薬を使うとき、薬剤師の人も関わるのかな？と思った/どんなに些細な病気でも死亡してしまうケースがあることを知ったので、どんな病気も油断できないことがわかった

この講演を聞くまでは医師は患者をただ治すものだと思っていたけど、医師は同時に研究者であることもこの講演でわかった。元々医師はカッコいい仕事だと思っていたがさらに強まった。少し医師について興味が湧いてきた。

医療関係の方と普段とは違う形で接することが出来たので、医師ならではの目線というものをより身近に感じる事が出来た。

質問項目	① 7/20	② 7/27	③ 8/4	④ 8/5
(1) 科学への興味が高まった。	100%	100%	100%	
(2) 未知の事柄への興味・好奇心が高まった。	100%	90%	100%	
(3) 以前より科学的にものごとをとらえられるようになった。	85%	100%	85%	
(4) 理科や数学の理論や原理への興味が高まった。	77%	80%	94%	
(5) 地元地域への関心が高まった。	46%	40%	47%	
(6) 身近な生活において科学が活かされていることを実感した。	85%	80%	94%	
(7) 学びを身近な生活に活かそうという意欲が高まった。	100%	100%	91%	
(8) 進路について考えるようになった。	54%	70%	94%	
(9) 仲間とともに学習を深めることの大切さを理解した。	92%	80%	81%	
(10) 知りたいことを自分で調べる意欲が高まった。	92%	100%	97%	
(11) 実験、観測、観察への興味が高まった。	85%	100%	91%	
(12) 研究活動および研究者を身近に感じるようになった。	100%	100%	91%	
(13) まとめや発表を通して表現力が向上した。	46%	60%	44%	
(14) 科学の発展と人類との関係について考えるようになった。	62%	70%	85%	
(15) 科学の発展と社会との関係について考えるようになった。	77%	77%	82%	
(16) 科学の学習が自分の将来の可能性を広げると思うようになった。	69%	100%	100%	
(17) 将来やってみたいと思える研究があった。	54%	92%	53%	
(18) 課題研究への意欲が高まった。	92%	100%	84%	
(19) 国際性が高まったと感じた。	62%	85%	74%	
(20) このような授業をまた聞きたいと思った。	100%	100%	100%	
(21) 事前学習で英語の論文を読みましたか。			97%	
(22) 英語の論文を読むことは自身の成長に役立つと思いますか。			100%	

